

青森県基本計画未来への挑戦 アウトックレポート 2010（概要版）

2010. 6

青森県の「立ち位置」と「進むべき方向性」のまとめ

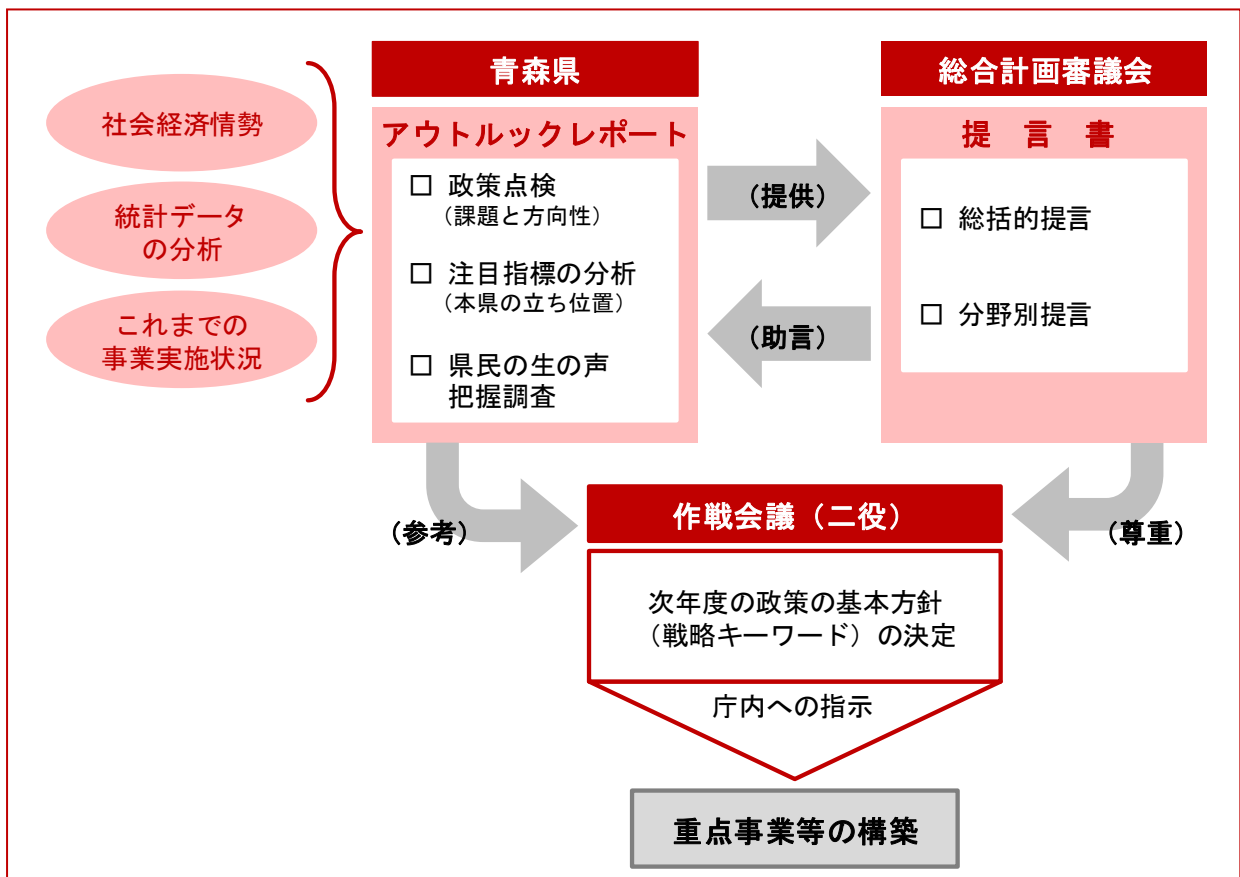
県では、「青森県基本計画未来への挑戦」を着実に推進するため、マネジメントサイクルの一環として、外部知見を活用しながら自己点検等を行い、その結果をアウトックレポートにまとめました。

1 アウトックレポートとは

アウトックレポートとは、基本計画に掲げる4つの分野を構成する政策と地域別計画の「政策点検」、「注目指標（1人当たり県民所得、平均寿命）の分析」、県民の現状やニーズを直接とらえた「県民の生の声把握調査」の結果をもとに、本県の立ち位置を様々な角度から多面的に把握するとともに、今後、本県が進むべき方向性をまとめたものです。

2 マネジメントサイクルの流れ

- アウトックレポート、青森県総合計画審議会からの提言書を踏まえ、知事をトップとする「作戦会議」において、次年度の政策の基本方針（戦略キーワード）を決定します。
- 戦略キーワードに基づき、各部局は平成23年度の重点事業を企画・立案します。



3 青森県の現状と課題、今後の方向性

「青森県基本計画未来への挑戦」では、2030年における本県のめざす姿として、「生業（なりわい）」に裏打ちされた豊かな「生活」が実現している社会を掲げています。

○県民一人ひとりの経済的基盤を支える「生業」^{なりわい}

- ・「生業（なりわい）」を代表する指標である「1人当たり県民所得」は、平成20年度に世界経済危機の影響等から減少しましたが、全国より減少幅が小さかったため、「1人当たり国民所得」との格差は縮小しています。

食やエネルギーなど、本県の比較優位資源を最大限に活用して、外貨獲得と域内循環を強化し、県民一人ひとりの所得の向上につなげていくことが重要

具体的には

- あおもり「食」産業の更なる充実・強化
- 東北新幹線全線開業をビジネスチャンスととらえた地域経済の活性化
- 厳しい経済情勢を踏まえた雇用のセーフティネットの確保 など

○暮らしやすさを守り、発展させる「生活」

- ・「生活」を代表する指標である「平均寿命」は、全国順位が男女ともに最下位であり、3大死因である悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患のほか、自殺、不慮の事故等による死亡率が高い状況が続いています。

県民の健康寿命向上に向けた取組をさらに充実・強化させていくとともに、命と暮らし、生活の健全さを守るための取組を、一体的に進めることが重要

具体的には

- 心身の健康づくりと保健・医療・福祉の充実
- 安心して子どもを産み、地域社会全体で子どもを守り、育てる環境づくり
- 県民が暮らしやすさを感じる自然環境や住環境等の維持・活用 など